



2012 8/27

## 国際シンポジウム 福島原発事故と人々の健康 ～教訓と課題

東京電力福島第一原発の事故は、子どもたちを含む多くの被災者、原発労働者そして全国の人々の健康にどのような影響を与えているのか。福島における健康管理対策の現状はどうなっているのか。事故後の経過の中から、私たちが学ぶべき教訓は何か。健康対策と被害の予防のために、今後どのような措置がとられるべきか。その中で医療者が果たすべき役割は何か。

1985年にノーベル平和賞を受賞した国際組織「核戦争防止国際医師会議 (IPPNW)」の世界大会が8月24～26日に広島で開催されるのに合わせて開催されるこのシンポジウムでは、同会議の医学者らを討論者に交えて、国際的な視点からこれまでの教訓と今後の課題を議論します。

### ■日時

2012年8月27日(月) (開場 18:00) 18:15～20:30

### ■会場

場所: 日比谷コンベンションセンター(大ホール)  
住所: 千代田区日比谷公園1番4号  
(旧・都立日比谷図書館、日比谷公園内)

### ■言語

日英同時通訳あり

### ■参加費

¥1,000 (海外からご参加の方は無料)

### ■申し込み

参加ご希望の方は、「氏名」「所属」「連絡先(電話番号またはメールアドレス)」をお書きの上、**登録締切日(8月25日)**までにメールでお申込みください。 [fukushima.symposium@gmail.com](mailto:fukushima.symposium@gmail.com)

### ■共同主催団体:

核戦争防止国際医師会議 (IPPNW ドイツ支部)  
戦争防止医療協会 (IPPNW オーストラリア支部)  
平和と発展をめざすインド医師連盟 (IPPNW インド支部)  
社会的責任のための医師の会 (IPPNW 米国支部)  
メダクト (IPPNW イギリス支部)  
社会的責任を負う医師団 (IPPNW スイス支部)

### ■協賛団体:

グリーン・アクション  
国際環境 NGO グリーンピース・ジャパン  
ピースボート  
反核医師の会

### ■プログラム

#### ○セッション1: 現状の分析と報告

- 崎山 比早子 (さきやま ひさこ)  
医学博士、元放射線医学総合研究所主任研究官、元国会事故調委員。高木学校は故高木仁三郎によって1998年に設立された、「市民科学者」を育成するためのNGOである。市民科学者とは現代社会の直面する環境、核、人権などの問題について、市民が抱く不安や憂慮を共有し、市民の視線でものごとを考えることができ、地球市民の時代にふさわしい国際性をもつ人。
- 高岡 滋 (たかおか しげる)  
水俣協立病院、神経内科リハビリテーション協立クリニック(熊本県水俣市)。1986年から水俣での医療に従事。1990年代より、現場の住民のデータを元に、メチル水銀の健康影響を明らかにしてきた。福島第1原発事故後、「環境汚染による健康影響評価の検討—水俣病の拡大相似形としての原発事故」を著す。
- 細川弘明(ほそかわ こうめい)  
京都精華大学(教授)、アジア太平洋資料センター(共同代表)、グリーンピース・ジャパン(共同代表)高木仁三郎市民科学基金(理事)。福島市内などで放射線測定、除染テストなどの活動をおこなった。
- 谷岡郁子(たにおか くここ)  
参議院議員、至学館大学理事長・学長。福島第一原発の事故以降、民主党原発PT事務局次長として被災者支援、事故原因の究明、脱原発のための活動を続ける。今年6月には超党派で「子ども被災者支援法」を成立させる。7月に大飯原発再稼働に抗議して離党、女性議員4名で参議院会派「みどりの風」を結成。

#### ○市民活動からの報告

- 岩田 渉 (市民放射能測定所)
- 満田夏花 (FoE-Japan)

#### ○セッション2: パネル討論 (IPPNWの医学者とともに)

- アンジェリカ・クラウゼン  
核戦争防止国際医師会議 (IPPNW ドイツ支部) 元理事
- ピーター・カラモスコス  
戦争防止医療協会 (IPPNW オーストラリア) 理事
- ジェフ・パターソン  
社会的責任のための医師の会 (IPPNW 米国支部) 理事
- 谷岡郁子、細川弘明、高岡 滋、崎山 比早子

#### 司会:

- ティルマン・アルフレッド・ラフ  
IPPNW(核戦争防止国際医師会議。1985年にノーベル平和賞受賞)理事。
- アイリーン・美緒子・スミス  
グリーン・アクション代表。

## ■会場・交通アクセス:

場所: 日比谷コンベンションセンター(大ホール)

住所: 千代田区日比谷公園1番4号(旧・都立日比谷図書館、日比谷公園内)

アクセス:

東京メトロ 丸の内線・日比谷線・千代田線「霞ヶ関駅」 C4・B2 出口より徒歩約5分

都営地下鉄 三田線「内幸町駅」 A7 出口より徒歩約3分

東京メトロ 千代田線・日比谷線「日比谷駅」 A14 出口より徒歩約7分

JR 新橋駅 日比谷口より 徒歩約12分



問い合わせ:ピースポート 担当:藤松りん  
連絡先:〒169-0075  
東京都新宿区高田馬場3-13-1-B1  
TEL: 03-3362-6307  
FAX: 03-3362-6309

最新情報は下記のウェブサイトにてご確認下さい。  
<http://fukushimasymposium.wordpress.com/>

## ■賛同のお願い:

本シンポジウムを成功させるために、賛同金(個人、団体とも一口1万円)をお願いします。  
賛同人、賛同団体のお名前は、原則としてホームページ上で公開させていただきます。

振込先:

郵便振替口座:00180-3-177458

加入者名:ピースポート

例) ※通信欄に「福島シンポジウム」とご記入ください

国際シンポジウム 福島原発事故と人々の健康 ~教訓と課題

<http://fukushimasymposium.wordpress.com/>